

6 特定疾患（難病）関係

(1) 特定疾患医療受給者証所持者数

平成18年度末現在の特定疾患医療受給者証所持者数（表7の注）は585,824人で、「男」241,263人（41.2%）、「女」344,561人（58.8%）となっている。また、人口10万対でみると458.5となっており、疾患別では「(12)潰瘍性大腸炎」が70.9と最も高く、次いで「(20)パーキンソン病関連疾患」67.7となっている。（表7）

表7 特定疾患医療受給者証の所持者数

平成18年度末現在

	特定疾患医療受給者証所持者数			特定疾患医療受給者証所持者数 (人口10万対)
	総数	男	女	
総数 (%)	585 824 (100.0)	241 263 (41.2)	344 561 (58.8)	458.5
(01) ベーチェット病	16 638	7 154	9 484	13.0
(02) 多発性硬化症	11 938	3 510	8 428	9.3
(03) 重症筋無力症	14 851	5 054	9 797	11.6
(04) 全身性エリテマトーデス	53 825	5 611	48 214	42.1
(05) スモン	1 926	457	1 469	1.5
(06) 再生不良性貧血	9 010	3 618	5 392	7.1
(07) サルコイドーシス	17 953	4 989	12 964	14.1
(08) 筋萎縮性側索硬化症	7 695	4 438	3 257	6.0
(09) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	36 110	6 578	29 532	28.3
(10) 特発性血小板減少性紫斑病	23 196	6 950	16 246	18.2
(11) 結節性動脈周囲炎	5 159	2 153	3 006	4.0
(12) 潰瘍性大腸炎	90 627	48 153	42 474	70.9
(13) 大動脈炎症候群	5 233	456	4 777	4.1
(14) ビュルガー病	8 121	7 101	1 020	6.4
(15) 天疱瘡	3 843	1 525	2 318	3.0
(16) 脊髄小脳変性症	19 948	9 723	10 225	15.6
(17) クロウン病	25 700	17 923	7 777	20.1
(18) 難治性の肝炎のうちの劇症肝炎	245	137	108	0.2
(19) 悪性関節リウマチ	5 566	1 512	4 054	4.4
(20) パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)	86 452	34 898	51 554	67.7
(21) アミロイドーシス	1 163	533	630	0.9
(22) 後縦靭帯骨化症	25 024	16 662	8 362	19.6
(23) ハンチントン病	705	301	404	0.6
(24) モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	10 930	3 694	7 236	8.6
(25) ウェゲナー肉芽腫症	1 267	605	662	1.0
(26) 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	18 636	13 909	4 727	14.6
(27) 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)	9 779	5 024	4 755	7.7
(28) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	327	144	183	0.3
(29) 膿疱性乾癬	1 487	753	734	1.2
(30) 広範脊柱管狭窄症	3 012	2 041	971	2.4
(31) 原発性胆汁性肝硬変	14 382	1 705	12 677	11.3
(32) 重症急性膵炎	1 169	808	361	0.9
(33) 特発性大腿骨頭壊死症	11 548	6 777	4 771	9.0
(34) 混合性結合組織病	7 837	612	7 225	6.1
(35) 原発性免疫不全症候群	1 065	693	372	0.8
(36) 特発性間質性肺炎	4 166	2 644	1 522	3.3
(37) 網膜色素変性症	23 938	10 159	13 779	18.7
(38) プリオン病	332	121	211	0.3
(39) 原発性肺高血圧症	961	290	671	0.8
(40) 神経線維腫症	2 277	1 013	1 264	1.8
(41) 亜急性硬化性全脳炎	100	53	47	0.1
(42) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	236	122	114	0.2
(43) 特発性慢性肺血拴塞栓症(肺高血圧型)	800	218	582	0.6
(44) ライソゾーム病(ファブリー〔Fabry〕病含む。)	496	298	198	0.4
(45) 副腎白質ジストロフィー	151	144	7	0.1

注： 特定疾患医療受給者証は、特定疾患治療研究事業の対象者（軽快者を除く。）として認定された者に交付される。

(2) 特定疾患登録者証所持者数

平成18年度末現在の特定疾患登録者証所持者数（表8の注）は37,058人で、「男」14,145人（38.2%）、「女」22,913人（61.8%）となっている。また、人口10万対で見ると29.0となっており、疾患別では「(07)特発性血小板減少性紫斑病」が6.1と最も高く、次いで「(05)サルコイドーシス」4.8となっている。（表8）

表8 特定疾患登録者証の所持者数

平成18年度末現在

	特定疾患登録者証所持者数			特定疾患登録者証所持者数 (人口10万対)
	総数	男	女	
総数 (%)	37 058 (100.0)	14 145 (38.2)	22 913 (61.8)	29.0
(01) ベーチェット病	1 315	467	848	1.0
(02) 重症筋無力症	1 006	303	703	0.8
(03) 全身性エリテマトーデス	2 353	225	2 128	1.8
(04) 再生不良性貧血	2 149	870	1 279	1.7
(05) サルコイドーシス	6 190	1 955	4 235	4.8
(06) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1 104	255	849	0.9
(07) 特発性血小板減少性紫斑病	7 842	2 289	5 553	6.1
(08) 結節性動脈周囲炎	185	75	110	0.1
(09) 潰瘍性大腸炎	5 594	2 613	2 981	4.4
(10) 大動脈炎症候群	394	50	344	0.3
(11) ビュルガー病	437	378	59	0.3
(12) 天疱瘡	250	105	145	0.2
(13) クローン病	1 099	661	438	0.9
(14) 悪性関節リウマチ	68	23	45	0.1
(15) 後縦靭帯骨化症	1 986	1 376	610	1.6
(16) モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	1 384	472	912	1.1
(17) ウェゲナー肉芽腫症	79	35	44	0.1
(18) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6	1	5	0.0
(19) 膿疱性乾癬	28	10	18	0.0
(20) 広範脊柱管狭窄症	156	118	38	0.1
(21) 特発性大腿骨頭壊死症	2 839	1 653	1 186	2.2
(22) 混合性結合組織病	304	35	269	0.2
(23) 特発性間質性肺炎	257	157	100	0.2
(24) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	33	19	14	0.0

注： 特定疾患登録者証は、特定疾患治療研究事業の対象者で、軽快者として認定された者に交付される。